

Photo Gallery

町民の横山さんが聖火をつなぐ 東京 2020 オリンピック聖火リレー



▲聖火をつなぐ横山さん(左)と次の区間のランナー(右)

6月24日、東京2020オリンピック聖火リレーが県内の第8区間の三島市で行われ、町民の聖火ランナー横山建治さんが第5スロットとなる「絵本屋前」から「三嶋大社大鳥居前」までを走りました。

横山さんは、「多くの人が笑顔になれるように、多くの人々がひとつになれるように、聖火ランナーとしてオリンピックを盛り上げたい」と聖火ランナーとしての思いを語っていました。

当日は観衆に手を振りながら、笑顔で走る姿が印象的でした。



有事に備えて 函南町水防訓練

6月27日、肥田簡易グラウンドで「令和3年度函南町水防訓練」が行われ、消防団員、役場消防隊、田方北消防署の約100人が参加しました。

訓練では、土のう作りや積み土のう工法の指導、山林火災を想定した模擬火災中継放水訓練を行い、水防技術を向上させるとともに、関係機関との連携体制の確認をしました。

参加した消防団員からは「日本各地で水害が増えているので、台風シーズンに向けて備えたい」という声が聞こえました。



▲土のう作りをする消防団員

町のためにさまざまな分野で協力 明治安田生命保険相互会社と包括連携協定締結



▲協定書を掲げる今田沼津支社長(右)と仁科町長(左)

6月30日、函南町役場で明治安田生命保険相互会社と「地方創生の推進に向けた包括連携協定」を締結しました。

同協定に基づき町では、「地域の安全・安心や健康づくりに関すること」、「結婚・出産・子育て支援に関すること」、「産業・観光振興および地域経済の支援に関すること」、「地域の活性化および町民サービスの向上に関すること」などの分野において、企業が持っているノウハウを活用しながら活力のあるまちづくりを推進していきます。

函南町文化協会

団体・活動紹介

写心気クラブ

人生において一期一会とはありそうでなかなか無い出会いです。風景や文化などでも一期一会の感動する場面にはめったに出会えませんが、当クラブはその一期一会の一瞬をカメラに収めようと集った13人で構成されています。「人に感動を伝える写真」とメンバーが一期一会のその一瞬に心の目・心の耳など全集中でシャッターを押しています。



▲大石義則氏撮影

魅了された天の川や流星群などを特殊技術で撮影したり、メンバー13人がそれぞれの個性で切磋琢磨し、より良い写真を撮影しようと研究しています。当クラブでは新たなメンバーを募集しています。写真に興味があり、人とは違った写真を撮りたいという人、ウエルカムです。楽しく撮影してみませんか？

問合せ先/青木 日出男 (080-9975-4571)

文芸散歩

書く楽しさを

西出定雄

人生最後が肝心である。80歳まで仕事一筋に生きて人間にはありがちな話だが、退職した途端もぬけの殻になって、これからどうしたものかと途方に暮れる。

人は死後、閻魔大王によって裁きを受ける。ならば正しい裁きを受けたいと願い、間違つて地獄行きなど宣告されたら大変だ。それには、私の足跡を閻魔大王用にあらかじめ書き置くこと。子や孫に遺す遺言にもなる。一挙兩得と考えた。

「よし、自分史を交えた随筆を書こう」と。いざさか重荷だが、人は死に方を選べない。若い方は少し選ぶ事ができる。書かないことには何も始まらないと。第1章を書き終え、閻魔大王用と親族、友人に送った。去り行く日々は早く、いつの間にか53章、600ページ。

物書きの抵抗は、己をさらけ出さねばならない。物書きの辛さは、己の思考をまとめることの未熟さを知ることになる。

いつの間にか、書くことが楽しみになってしまった。「もう少し娑婆に居て書き続けよ」と、閻魔大王の声が聞こえてくるような。小鳥たちとの語りも楽しんでる。

〈函南文芸の会〉